

## 承認2号議案 2023年度の事業計画案

コロナ「後遺症」ともいえるテレワークの加速、来館者減少、雑誌業界の不振、そして特定図書館による複写資料の公衆(電子)送信の開始――。

23年度の大宅壮一文庫を取り巻く環境は、これまで以上に厳しさが増すとみられる。この状況に、6年ぶりに大改修を実施し、今年8月から運用スタートする予定の「雑誌記事索引システム」をフル活用して立ち向かい、事業収益の増収を目指す。さらに、マスコミ・研究者以外の「一般利用者の拡大」、「法人の支援寄付会員増加」を3本の柱を据え、新たな試みに取り組んで行く。

### <雑誌記事索引システムのフル活用>

#### ▼索引検索支援サービス

システム大改修で、「目録データ」100万件を合体して一本化させ、約700万件という膨大な索引データが実現する。この“宝の山”を上手に利用してもらうため、職員が利用者の索引検索を有料で支援するサービスをスタートさせる。急いで索引検索が必要な人や、検索に慣れない人には歓迎され、利用も多くなる。

#### ▼Web OYA-bunko 教育版、図書館版の導入促進

今年6月を目途に、特定図書館の電子データ送信が始まる。この送信利用の申し込みには、雑誌名、発刊日、希望記事掲載ページの情報が必須となる。教育版、図書館版が極めて有効であることをアピールして、導入を呼びかけていく。また地方の図書館、学校に強い業者や書店に依頼して、売り込みの営業強化を図っていく。

#### ▼データベース会社との連携

索引データを乗り入れての連携実施や、Web OYA-bunkoの業務委託について、外部業者と交渉・実現を目指し、索引活用の輪を広げていく。

#### ▼雑誌記事人物索引の2022年版の刊行

「大宅壮一文庫 雑誌記事人物索引」の2022年版を刊行する。

人物索引は、2016年からオンデマンド出版(受注制作)で発売が始まり、今年1月には21年版が刊行されている。2010年版から21年版までが揃い、都道府県・区市図書館や大学など66施設が購入。1セット10万円前後と高額だが、昨年末現在で、520セットが売れている。

### <一般利用客の来館促進策>

#### ▼各種イベントの開催ジブリ展の開催

・ジブリ展＝22年度に実施して好評だった「スタジオジブリ展・アニュメージュ 読み放題」を、9月の連休に実施する。

・企画展＝年度内に数回、閲覧室の一角で、企画展を実施する。テーマは「雑誌

創刊号「大谷翔平」「オリンピック」「大地震」「鉄道」「テーマパーク」「銀幕のスター」「歌舞伎の世界」「邦楽」など。月～土までの6日間、関連雑誌を並べ、読み放題とする。

#### ▼大学等で提携授業

・専修大学の雑誌ジャーナリズム論講座を受託＝学期後半に15コマ講義する。講師は出版各社の編集者や文庫職員。21年度から始まり3回目。豪華講師陣での授業は大好評となっている。

・大宅文庫での課外授業＝索引検索室と閲覧室を開放。大学教員が学生に、大宅文庫の索引検索などを実施指導する。専修大学、大妻女子大、明星大学などの来館が毎年ある。21年度は、中学校2校の参加もあった。

#### ▼地域住民サービス

・夏休み学習支援＝夏休みの宿題などを、文庫所蔵の雑誌記事で調べて完成させる。地域の小学生から高校生までが対象。応募した学生には「パスポート」を発行し、期間中何回でも入館できる仕組みにする。

・回想法イベント＝回想法は、高齢者を対象に、昔の出来事を思い出して脳の活性化を図り、認知症予防に役立てる試み。大宅文庫の所蔵雑誌を使い、参加者に昭和時代の写真や記事を見てもらい、昔の思い出を語り合ってもらおう。世田谷区立経堂図書館との連携企画。

#### <寄付支援の輪を拡大>

#### ▼法人会員への働きかけ

・面談、テレホン作戦＝従来のレター作戦に加えて、直接アプローチも展開する。法人会員は、金額が大きく重要な存在。会員数を増やすとともに、大口支援の会員確保が喫緊の課題になっている

#### ▼遺贈寄付サポートサービス

・レディーフォーの活用＝クラウドファンディング事業のレディーフォーが遺贈寄付サービスを始めた。このサービスに参加して、遺贈の呼びかけを本格的に開始する。遺贈に関しては、これまで全国レガシーギフト協会のレガシーパートナーに加盟し、独自の遺贈パンフレットも作成して呼びかけているが、効果は出ていない。

#### <その他>

#### ▼変動制料金導入の検討

・複写手数料について、2月、8月などの閑散期は割引料金にして、利用の増加を図る。また申込当日でない注文も割引料金にすることも検討する。

#### ▼複写手数料の値上げ

・公衆送信の補償金制定への対応で、値上げは避けられない事態になる。